



一般社団法人 北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム

第28回GOTIC教育セミナーのご案内

平成29年12月

GOTIC 正会員・賛助会員の皆様

平素より GOTIC 臨床研究に多大のご協力をいただき、ありがとうございます。
さてこのたび、第28回 GOTIC 教育セミナーを下記の要領で開催いたします。
まず、GOTIC-003 iPLAS の研究成果を自治医科大学附属病院の藤原寛行先生
に発表していただきます。続いて GCIG の参加報告を行います。また埼玉医科大学
国際医療センター病理診断科の安田政実先生に「卵巣腫瘍における組織型の固
有性」についてご講演いただきます。

お誘い合わせのうえふるってご参加ください。

GOTIC 理事長

鈴木 光明

GOTIC 教育セミナー企画委員会 委員長 藤原 寛行

記

開催日時：平成30年2月3日(土) 17:30~20:00

※お弁当、ビールなどを準備いたします

場 所：ビジョンセンター東京(旧別館) 702号室

東京都中央区八重洲2-7-12 ヒューリック京橋ビル7階

TEL: 03-6262-3553 (代表)

参加費：無料

(賛助会員には、1社につき2名様までのご参加とさせていただきます)

参加を希望される方は、別紙参加申込書を1/15までにGOTIC事務局FAX
(049-292-9048) かメール添付(gotic@gotic.jp)で送信してください。

プログラム

- 開会の辞

- GOTIC-003 iPLAS 試験 結果・報告

自治医科大学附属病院

藤原寛行先生

- GCIG 参加報告

- 自治医科大学附属病院

藤原寛行先生

- 兵庫県立がんセンター

長尾昌二先生

- 神奈川県立産業技術総合研究所

グローバルヘルスリサーチ

梶本裕介様

コーディネーティングセンター

- 自治医科大学附属病院

小原泉様

- 埼玉医科大学国際医療センター

加藤真吾先生

- 埼玉医科大学国際医療センター

長谷川幸清先生

- 講演

「卵巣腫瘍における組織型の固有性」

埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 教授・診療部長

安田政実先生

- 閉会の辞

主催 一般社団法人 北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム (GOTIC)

第28回 GOTIC 教育セミナー 抄録

<講演>

「卵巢腫瘍における組織型の固有性」

埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 教授 診療部長

安田政実先生

今世紀になって卵巢腫瘍の組織発生論が大きく揺れ動き、これまで我々が持ち続けてきた卵巢腫瘍のイメージ/パラダイムが臨床的にも病理的にも崩れ去るのではと思われたが、WHO 分類 2014 年版の発刊後 3 年を経て想定外に“落ち着き”が戻ってきた。

漿液性癌は半数以上がⅢ期ないしⅣ期といった進行癌の状態で見られ、他の組織型とは全く異質な病態をとる。これまでは「漿液性癌は早期に腹腔内に播種する」ことに理路整然とした説明がなされてこなかったが、STIC (serous tubal intraepithelial carcinoma) 説が登場したことで疑問が解け、“それなりに”決着をみたかのように思われる。しかるに、本邦では STIC がみつかるケースは多くない。(というよりも) 実際に進行癌がほとんどである漿液性癌で純粋な STIC に遭遇することは極めて少ない。言い換えれば、検索可能な切除検体を得て病理学的にエビデンスを示すことが難しい。

昨今、疾患単位として“一応の独立性”が確立された腹膜癌は、決して新興の概念ではなく以前から様々な名称が与えられてきた。とりわけ、SSCP (serous surface carcinoma of the peritoneum) が最もよく使われてきた。FIGO (1993) による腹膜癌の定義は、今回の WHO の改訂によっても変更はみていない。本邦の規約は WHO に連動して 2015 年に臨床編が、2016 年には病理編が改訂となり、それらはタイトルにも手が加えられたことで、「卵巢腫瘍・腹膜癌・卵管癌取扱い規約」が新たに登場した。結局のところ、腹腔内に進展した漿液性癌 (いわゆる骨盤漿液性癌 pelvic serous carcinoma) は「病変の主座」でもって、卵巢癌か腹膜癌か、あるいは卵管癌かの名称が与えられ、腫瘍登録にも連結する。ただし腹膜癌は、婦人科医を除けば認知度が低く、他科の臨床医は言うにおよばず病理医ですら理解度において個人差が大きいように思われる。

漿液性癌は高異型度 high-grade と低異型度 low-grade に明確に分類されることになり、基本的に両者は連続性を欠くという理解のもと、今や別種の癌として取り扱われる。“このような漿液性癌”を筆頭に卵巢腫瘍の本質が大きく変化を遂げ一明細胞癌や類内膜癌が月経時の逆流血に乗って運ばれた子宮内膜組織に由来するものが大半であるとすれば一卵巢癌の大部分を占める上皮性腫瘍は実質的に卵巢腫瘍ではないとする考えに抗う根拠はほとんど存在しない。粘液性腫瘍において

も、その一部は虫垂に由来を求めることができるため、卵巢原発と信じてよい腫瘍、すなわち真の卵巢腫瘍は性索間質腫瘍や胚細胞腫瘍といった組織発生を卵巢の固有組織に限定される（と考えられる）。

本講演では、1:WHO分類2014とそれに準拠して改訂された規約において、分類や定義など変遷を遂げたいくつかの卵巢腫瘍を概説し、次に、2:漿液性腫瘍の実像を腹腔細胞診の所見も交えて紹介する。また、3:日常診療に有益と思われる、婦人科医には馴染みの薄い腫瘍の実例を case study のごとくにあげてみる。さらには、GOTIC の場をお借りして臨床・病理学的多施設間共同研究のあり方/デザインを（可能ならば）提示してみたい。

< 会場地図 >

ビジョンセンター東京（旧別館）

東京都中央区八重洲2-7-12 ヒューリック京橋ビル7階

Tel： 03-6262-3553（代表）



最寄駅からの所要時間

JR 東京駅 八重洲南口 徒歩4分

（地下街 5番出口 徒歩3分）

東京メトロ銀座線京橋駅 5番出口徒歩1分

返信先 GOTIC 事務局 FAX : 049-292-9048

E-mail : gotic@gotic.jp

一般社団法人 北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム

第 28 回 GOTIC 教育セミナー 参加申込書

平成 30 年 2 月 3 日 (土) 17 : 30 ~

於) ビジョンセンター東京 (旧別館)

ご参加いただける方は、1 月 15 日 (月) までに GOTIC 事務局へ FAX (049-292-9048) かメール添付 (gotic@gotic.jp) にてご返信くださいますようお願いいたします。

施設名	氏名	e-mail
	(卒年度： 年度卒)	
	(卒年度： 年度卒)	
	(卒年度： 年度卒)	
	(卒年度： 年度卒)	
	(卒年度： 年度卒)	

[問い合わせ先]

GOTIC 事務局

〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷5 グランドビル 20D 号

TEL : 049-292-9043

FAX : 049-292-9048

E-mail : gotic@gotic.jp